

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川西市環境審議会		
事 務 局	市民環境部 環境衛生課 内線(2930)		
開 催 日 時	平成30年8月3日(金) 13時00分～15時00分		
開 催 場 所	アステ市民プラザ マルチスペース1		
出 席 者	委 員	木下委員(会長)・中野委員(副会長)・武田委員・横谷委員・信田委員・井口委員・大矢根委員・西村委員・高石委員	
	事務局	市民環境部長・市民環境副部長・環境衛生課長・環境衛生課員 環境衛生課員・環境衛生課員	
傍 聴 の 可 否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	【議 事】①第2次川西市環境基本計画の進行管理について ②生物多様性ふるさと川西戦略の推進について ③第2次川西環境基本計画の今後の方向性について 【そ の 他】		
会 議 結 果	詳細は審議経過のとおり		

審 議 経 過

議事1 第2次川西市環境基本計画の進行管理について	
会長	「第2次川西市環境基本計画」と以前の計画の違いは環境行動の中に教育分野を追加し、5つの項目にしたこと。また、川西市の総合計画に合わせて地域別の環境配慮指針を作成したことにあります。それらをまとめたのが「環境の概況」と「進行管理表」になります。まず、全般的・個別的に限らずご意見なり、ご質問があればどうぞ。
委員	里山保全指標の森のインストラクターですが、森林インストラクターに変更はできないですか？インストラクターという言い方は森林インストラクターというのが共通語で森のインストラクターという言葉はボランティア団体も使わないとおもいます。森林インストラクターという資格もあります。
委員	この指標にある森のインストラクターと森林インストラクターは異なるものであったと思う。資格の有無に関わらず森林ボランティアで活動している、活動している人を指導できる人という意味であったと思う。
委員	川西は多くの市民ボランティアが活動しているが、森のインストラクターが平成27年度3人、28年度1人、29年度1人では少なすぎる。さらに言うと、森のインストラクターの数が増えれば里山保全に繋がるのか疑問です。
会長	あまり適切でない表現かもしれません。これに変わるものがあると思います。
委員	BODの値が平成27年度に低下し、28年度に基準値近くまで上昇後、29年度はまた低下しています。要因や測定限度はわかりますか？
事務局	測定限度が0.5mg/lになります。この数値以下は測定することはできません。平成27年度が0.7mg/l、28年度が1.4mg/l、29年度が0.8mg/lと限界に近い値になっております。従って、その日の状況で差が出たのではないかと考えております。
会長	これは何回かの平均ですか？
事務局	毎月1回測定し、年間の75%値です。
委員	猪名川水系の砒素の測定ですが、これは有機砒素と無機砒素を合わせた数値ですか。無機砒素は人体に有害なのでどれくらい含まれているか分かりますか？
事務局	合わせた数値です。全体として測定しているの細かい比率は不明です。
会長	環境基準はどうですか？
事務局	環境基準は満たしております。
会長	平成27年度は超過していますが、塩川には砒素が増える要因があるのですか？
事務局	この辺りは昔から地表から砒素が出る地域になります。
会長	有機砒素なのか無機砒素なのか調べるのが可能か確認できますか？
事務局	一度確認させていただきます。
委員	桜の開花と温暖化の考察についてですが、基準木が時間経過と共に変化する

	と判断が難しくなると思う。その辺はどう考えていますか？
事務局	基準木は当初からプレートをつけるなど管理しています。しかし、枯れたり、途中から参加したいという声もあるため変化しています。今の所開花と温暖化に大きな傾向は感じられないが、春の季節の喜びを感じて頂ける事業として進めていけたらと考えています。
副会長	進行管理表の取組状況の書き方ですが、数値が増減した原因など定量的に書くようにするのはどうか。
会長	副会長に関連して、審議会の資料についてですが、昨年度とどこが変わったかまとめていただけると助言しやすく有意義な進行が出来ると思います。
委員	川西市のホームページですが、現在の大気環境を5段階評価で表すなどもう少し分かりやすい表現にさせていただけると楽しめると思います。
会長	前回の審議会でホームページを改善・変更しますとありましたが、変わったのですか？
委員	少し前進しており、見やすくなっていました。
議事2 生物多様性ふるさと川西戦略の推進について	
会長	環境基本計画の5つの項目全てを並列に行うことは大変なので、まずは文化自然環境と生物多様性をリンクさせて実施していこうという流れになっておりました。進捗はどのような状況でしょうか？
事務局	昨年度は生物多様性ふるさと川西シンポジウムを2月12日開催させて頂きました。市内の分かっている団体すべてにお声がけさせていただきました。結果、パネリストとして15団体、その他ご協力をいただいた団体を合わせまして17団体に参加していただきました。今後も進めてまいります。
委員	川西市の保全活動団体は横の繋がりがあまりありません。シンポジウムを含めてこのような活動を続けていって頂ければと思います。
会長	アンケートにも大変よかった、よかったとありますので続けて頂こうと思います。
副会長	第1回生物多様性ふるさとシンポジウムの議事録に日時等が入っていないので入れるようにしてください。
事務局	最終的には表紙もつけてさせていただきます。
委員	私も参加しましたが、大変素晴らしかったです。これが初めてでしょうか？
事務局	初めてです。
委員	引き続き宜しくお願いいたします。
議事3 第2次川西環境基本計画の今後の方向性について	
会長	今後の方向性として私の方から提案があるのですが、新しい計画の柱として「地域別環境配慮指針」があります。しかし、この柱をどう生かしていくかの方針が立っていない状態だと思えます。どのように進めていけば良いかご意見を頂ければと思います。
委員	地域別環境となると地域のコミュニティさんやその中の部会や協部会さんにご協力頂くことになると思えます。部会等の整備が出来ていない地域は確立

	も併せて行う。ご協力を頂く為に定期的に情報提供を行いながら地域ごとに 関心を持ってもらうような仕組みづくりが大切だと思います。コミュニティ の中にも関心を持っている方が多くおられます。10年とかの枠の中で協力者 を要請しながらコミュニティと連携していけるのではと思っています。
委員	川西市内14のコミュニティがそれぞれ特性を持っていますので講演会など 様々な専門家にも来ていただいて地域の環境について考えられるようにした いと思います。予算が必要だと思いますが検討願いたい。
委員	進行管理表が重要になってくると思う。現在は全体の管理表を作成している が、5年に1回など地域別の進行管理表があれば良いと思う。
会長	この進行管理表を地域でするのは大変だと思う。もう少し簡便にし、実施し たことや不足していることが明確になるのが重要だと思う。例えば、地域の 課題は何で今年実施したことをアンケート調査するとか。2年や3年に1回で はそれほど負担ではないと思う。
委員	負担ではないと思う。
事務局	現状の進行管理表のなかに市民実感調査があります。これは小学校区分です が、この部分についてのみコミュニティ単位で毎年見て頂くことは可能かと 思います。一度事務局で検討させていただきます。
副会長	地域ごとの成功事例を乗せると他の地域も参考になり刺激になると思う。そ のような成功事例のプロセスの乗せると分かりやすいと思う。
会長	何か地域ごとにまとめることはできますか。コミュニティ毎に今年を取り組 みやどうなったなど少し書くようになると実感が持てると思います。
事務局	小学校コミュニティ毎に一括交付金を使って環境やスポーツ、福祉などの取 り組みを実施頂いています。別の課が報告という形で実施事項を受け取っ ております。どのレベルで報告を受けているかなど事務局の方で調整させて いただきます。
会長	非常に良いと思います。
全体を通してのご意見	
委員	進行管理表の里山体験学習は16校で行われていますが、中身のレベル差が非 常にあると思う。この差の中で誰がどのように旗振りをするかが無いのが現 状です。実施側の高齢化も進んでいる。川西市か教育委員会、ボランティア 団体なりが現状の問題点を踏まえて方向性を示していただければと思う。
会長	ボランティア団体の方がプログラムを組んでいるのですか？
委員	ボランティア団体がプログラムを組み、市に提出、先生のご了解を得ます。
会長	熱心な学校はどれくらいあるのですか？
委員	十何年連続してクヌギの苗を植え、毎年観察を行い6年生になると1年生に 引き継ぐという所もあります。逆にクラフト細工のみの所もあります。
会長	それこそ正に数字だけでは分からない部分ですね。今後このような道筋を作 った方が良いと言う事を表す一つの例ですね。 他にご意見が内容ですので、終わらせていただきます。

